

トヨタ紡織歴史未来館は、愛知県刈谷市にあるトヨタ紡織本社の敷地内に設けられた施設です。創業者である豊田佐吉の志やトヨタ紡織の歴史を伝えるとともに、未来に向けたメッセージを発信する場として、2022年4月に開館しました。

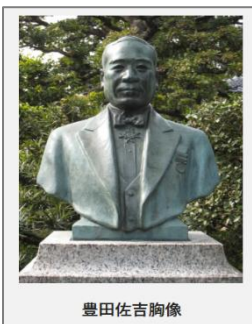


1. 施設の概要と見どころ

- **歴史的建造物の活用:** 建物は、1923年(大正12年)に竣工した豊田紡織刈谷試験工場のボイラー室として使われていたレンガ造りの建物を、新本館建設に伴い、外壁を移築・再利用したものです。これにより、創業当時の歴史を今に伝えています。
- **映像とデジタルによる展示:** 展示は、パネルなどではなく映像コンテンツが中心です。
 - **「100年時計」:** 豊田紡織の歴史を、当時の記録映像を交えながら空間で紹介しています。苦難の時代と発展の歴史を学ぶことができました。
 - **巨大スクリーン:** 全長20メートルの巨大な「糸」で構成されたスクリーンがあり、豊田佐吉の考え方をまとめた「豊田綱領」をテーマにした迫力ある映像が上映されます。
 - **デジタル年表:** 豊田紡織の歴史を、タッチ操作で迎えることができるデジタル年表も設置されています。

※豊田紡織から豊田自動織機製作所が生まれ、さらに豊田自動織機製作所からトヨタ自動車工業や愛知製鋼が誕生し、現在のトヨタグループを形成する各企業が派生していきました。豊田紡織は、現在のトヨタグループの基になる会社であるといえます。(現在トヨタグループ17社の源流)

豊田 佐吉 【1867(慶応3年)～1930(昭和5年)・トヨタグループの創始者】



豊田佐吉胸像

豊田佐吉は、明治期に織機の発明を重ね、特に自動化に注力した「稀代の発明王」です。彼の発明した「豊田式木製人力織機」や「豊田式汽力織機」は日本で初めての動力織機であり、後の「G型自動織機」は繊維産業に革命をもたらしました。その功績は特許取得件数にも現れ、生涯で84件の特許と35件の実用新案、13件の海外特許を取得しました。これらの技術を基盤に豊田紡織(現トヨタ紡織)と豊田自動織機製作所(現豊田自動織機)を創業し、トヨタグループの創始者となりました。本日はその源流と世界のトヨタの変遷について見聞を広めることができました。

●後世に伝わる精神：「障子を開けてみよ。外は広いぞ」という言葉に表される広い視野と挑戦する精神は、現代にも語り継がれています。

